



## 平成24年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成24年11月2日

上場会社名 サクセスホールディングス株式会社 上場取引所 大  
 コード番号 6065 URL <http://www.success-holdings.co.jp/>  
 代表者 （役職名）代表取締役社長 （氏名）柴野 豪男  
 問合せ先責任者 （役職名）取締役管理部長 （氏名）野口 洋 TEL 0466 (55) 5110  
 四半期報告書提出予定日 平成24年11月9日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無  
 四半期決算説明会開催の有無： 無

（百万円未満切捨て）

### 1. 平成24年12月期第3四半期の連結業績（平成24年1月1日～平成24年9月30日）

#### （1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年12月期第3四半期	5,280	—	376	—	630	—	335	—
23年12月期第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

（注）包括利益 24年12月期第3四半期 335百万円（－％） 23年12月期第3四半期 ー百万円（－％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年12月期第3四半期	211.52	—
23年12月期第3四半期	—	—

（注）1. 当社は、平成23年12月期第3四半期においては、四半期連結財務諸表を作成していないため、平成23年12月期第3四半期の数値及び平成24年12月期第3四半期の対前年同四半期増減率の記載をしておりません。

2. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

#### （2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年12月期第3四半期	4,636	1,378	29.7
23年12月期	3,472	670	19.3

（参考）自己資本 24年12月期第3四半期 1,378百万円 23年12月期 670百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
24年12月期	—	0.00	—	—	—
24年12月期（予想）	—	—	—	0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

### 3. 平成24年12月期の連結業績予想（平成24年1月1日～平成24年12月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,209	20.0	415	14.8	658	34.0	346	34.9	212.96

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(注)詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	24年12月期3Q	1,747,000株	23年12月期	3,100株
② 期末自己株式数	24年12月期3Q	一株	23年12月期	一株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	24年12月期3Q	1,587,444株	23年12月期3Q	一株

(注) 第1四半期連結会計期間において平成24年3月30日付で普通株式1株につき500株の割合で株式分割を行いました。当連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、平成24年12月期第3四半期の期中平均株式数を算定しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

(株式分割について)

当社は、平成24年3月30日付で普通株式1株につき500株の割合で株式分割を行っております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	9
(5) セグメント情報等 .....	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の復興需要を背景に、内需は堅調さを維持しましたが、欧州経済の信用不安や、日中関係の悪化による景気の下押し懸念、円高の長期化など、世界情勢に連動した景気減速要因により、依然として先行きが不透明な情勢です。

保育業界におきましては、全国的には待機児童数は減少したものの、依然として都市部を中心に保育サービスへの需要は高い状況です。このような環境の中、当社グループでは、一人でも多くの保護者の方に保育サービスを提供すべく、新規施設の開設を進めてまいりました。

当第3四半期連結累計期間においては、以下の保育施設を新たに開設いたしました。

(受託保育事業)

- ・病院内保育施設

東京都

杉並区 1箇所

目黒区 1箇所

調布市 1箇所

府中市 1箇所

神奈川県

藤沢市 1箇所

足柄上郡開成町 1箇所

新潟県

上越市 1箇所

柏崎市 1箇所

愛知県

名古屋市西区 1箇所

- ・事業所内保育施設

大阪府

寝屋川市 1箇所

- ・グループ実施型家庭保育室

ほかほか保育室如意 (愛知県名古屋市中区)

ほかほか保育室戸田 (愛知県名古屋市中区)

ほかほか保育室若水 (愛知県名古屋市中区)

(公的保育事業)

- ・認可保育園

にじいろ保育園一之江 (東京都江戸川区)

にじいろ保育園上石神井 (東京都練馬区)

にじいろ保育園大岡山 (東京都大田区)

にじいろ保育園上水本町 (東京都小平市)

にじいろ保育園大崎 (東京都品川区)

にじいろ保育園三鷹下連雀 (東京都三鷹市)

- ・公設民営保育園

田園調布二丁目保育園 (東京都大田区)

- ・公設民営学童クラブ

練馬区大泉学園小学童クラブ (東京都練馬区)

中野区桃園第二学童クラブ (東京都中野区)

中野区平和の森学童クラブ (東京都中野区)

浦安市日の出南小学校地区児童育成クラブ (千葉県浦安市)

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、5,280,101千円、営業利益は376,460千円、経常利益は630,088千円、四半期純利益は335,779千円となりました。

セグメントの業績は次の通りであります。

(受託保育事業)

売上高は2,386,166千円となりました。セグメント利益は293,234千円となりました。

(公的保育事業)

売上高は2,893,935千円となりました。セグメント利益は365,803千円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産の部

当第3四半期連結会計期間末の総資産は4,636,429千円(前連結会計年度末比1,163,702千円増)となりました。

(流動資産)

流動資産は2,738,379千円(同862,835千円増)となりました。これは、主に営業活動によるキャッシュ・フロー496,175千円が生じたこと、投資活動によるキャッシュ・フロー△409,503千円が生じたこと及び財務活動によるキャッシュ・フロー768,789千円が生じたことにより、現金及び預金が前連結会計年度末比で855,461千円増加したためであります。

(固定資産)

固定資産は1,893,663千円(同296,479千円増)となりました。これは、主に公的保育事業における新規施設の開設があったことにより建物及び構築物が414,913千円増加し、それに伴う建設仮勘定が162,692千円減少したためであります。

②負債の部

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は3,258,390千円(同456,347千円増)となりました。

(流動負債)

流動負債は1,603,910千円(同190,445千円増)となりました。これは、主に長期借入金の増加に伴う1年以内返済予定の長期借入金が162,302千円増加したためです。

(固定負債)

固定負債は1,654,480千円(同265,902千円増)となりました。これは、主に公的保育事業における新規施設の設備投資資金の調達のために長期借入金が270,771千円増加したことによるものであります。

③純資産の部

当第3四半期連結会計期間末の純資産は1,378,039千円(同707,354千円増)となりました。これは、主に株式発行により資本金が185,771千円、資本剰余金が185,771千円増加したこと及び四半期純利益335,779千円を計上したことにより利益剰余金が増加したためです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想につきましては、平成24年11月1日に公表いたしました業績予想に変更はありません。詳細につきましては、平成24年11月1日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(1株当たり当期純利益に関する会計基準等の適用)

第1四半期連結会計期間より、「1株当たり当期純利益に関する会計基準」(企業会計基準第2号 平成22年6月30日)、「1株当たり当期純利益に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第4号 平成22年6月30日公表分)及び「1株当たり当期純利益に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第9号 平成22年6月30日)を適用しております。

第1四半期連結会計期間において株式分割を行いました。期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しております。

### 3. 四半期連結財務諸表

#### (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,303,570	2,159,031
受取手形及び売掛金	434,383	458,185
原材料及び貯蔵品	7,264	5,312
その他	131,933	115,922
貸倒引当金	△1,607	△71
流動資産合計	1,875,543	2,738,379
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,292,641	1,801,374
減価償却累計額	△327,892	△421,712
建物及び構築物 (純額)	964,748	1,379,661
その他	273,843	147,328
減価償却累計額	△68,074	△86,564
その他 (純額)	205,769	60,764
有形固定資産合計	1,170,517	1,440,426
無形固定資産	62,263	52,666
投資その他の資産	364,401	400,570
固定資産合計	1,597,183	1,893,663
繰延資産	—	4,386
資産合計	3,472,727	4,636,429
<b>負債の部</b>		
流動負債		
1年内償還予定の社債	20,000	20,000
1年内返済予定の長期借入金	344,737	507,039
未払法人税等	192,380	191,291
賞与引当金	14,614	91,609
その他	841,732	793,970
流動負債合計	1,413,464	1,603,910
固定負債		
社債	60,000	40,000
長期借入金	1,212,515	1,483,287
資産除去債務	56,748	81,175
その他	59,313	50,017
固定負債合計	1,388,578	1,654,480
負債合計	2,802,042	3,258,390

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	285,771
資本剰余金	324,668	510,439
利益剰余金	246,015	581,794
株主資本合計	670,684	1,378,005
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	0	33
その他の包括利益累計額合計	0	33
純資産合計	670,684	1,378,039
負債純資産合計	3,472,727	4,636,429

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年1月1日 至 平成24年9月30日)
売上高	5,280,101
売上原価	4,229,707
売上総利益	1,050,394
販売費及び一般管理費	673,934
営業利益	376,460
営業外収益	
受取利息	499
設備補助金収入	285,984
その他	10,497
営業外収益合計	296,980
営業外費用	
支払利息	22,679
株式公開費用	16,900
その他	3,772
営業外費用合計	43,352
経常利益	630,088
特別損失	
固定資産売却損	16
特別損失合計	16
税金等調整前四半期純利益	630,072
法人税等	294,292
少数株主損益調整前四半期純利益	335,779
四半期純利益	335,779



(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年1月1日 至 平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	335,779
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	33
その他の包括利益合計	33
四半期包括利益	335,812
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	335,812

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

当第3四半期連結累計期間  
(自 平成24年1月1日  
至 平成24年9月30日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	630,072
減価償却費	129,483
設備補助金収入	△285,984
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△1,535
賞与引当金の増減額 (△は減少)	76,995
受取利息及び受取配当金	△502
支払利息	22,679
支払手数料	2,911
売上債権の増減額 (△は増加)	△23,802
たな卸資産の増減額 (△は増加)	1,952
未払金の増減額 (△は減少)	△1,653
前受金の増減額 (△は減少)	△68,485
その他	44,364
小計	526,495
利息及び配当金の受取額	502
利息の支払額	△23,200
法人税等の支払額	△293,605
補助金の受取額	285,984
営業活動によるキャッシュ・フロー	496,175
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△362,249
無形固定資産の取得による支出	△8,281
敷金及び保証金の差入による支出	△21,701
敷金及び保証金の回収による収入	1,440
その他	△18,711
投資活動によるキャッシュ・フロー	△409,503
財務活動によるキャッシュ・フロー	
長期借入れによる収入	707,088
長期借入金の返済による支出	△276,926
社債の償還による支出	△20,000
株式の発行による収入	367,797
リース債務の返済による支出	△9,170
財務活動によるキャッシュ・フロー	768,789
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	855,461
現金及び現金同等物の期首残高	1,283,570
現金及び現金同等物の四半期末残高	※ 2,139,031

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

(セグメント情報)

当第3四半期連結累計期間(自平成24年1月1日至平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	受託保育 事業	公的保育 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,386,166	2,893,935	5,280,101	—	5,280,101
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	2,386,166	2,893,935	5,280,101	—	5,280,101
セグメント利益	293,234	365,803	659,038	△282,578	376,460

(注) 1. セグメント利益の調整額△282,578千円は、各報告セグメントに配分できない全社費用であります。

全社費用は、主に管理部門に係る一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、平成24年8月7日付における大阪証券取引所JASDAQ(スタンダード)への株式上場にあたり、公募増資による払込が平成24年8月6日、第三者割当増資による払込が平成24年9月4日に完了いたしました。

この結果、当第3四半期連結会計期間において資本金及び資本剰余金がそれぞれ185,771千円増加し、当第3四半期連結会計期間末において、資本金が285,771千円及び資本剰余金が510,439千円となっております。